

平成30年度

まちづくり懇談会実施結果報告書

(今泉地区)

宇都宮市総合政策部広報広聴課

平成30年度 第1回 まちづくり懇談会《今泉地区》実施結果報告書

この実施結果報告書は、まちづくり懇談会《今泉地区》における発言の要旨をまとめたものです。

- 1 開催日時 平成30年6月29日（金）午後6時30分～午後8時
- 2 開催場所 今泉地域コミュニティセンター
- 3 参加者数 40人（市出席者除く）
- 4 市出席者 市長，総合政策部長，広報官，地域まちづくり担当副参事，東市民活動センター所長，LRT企画課協働広報室長，都市基盤保全センター，広報広聴課長

5 懇談内容

（1）地域代表あいさつ

今泉地区連合自治会，今泉地区コミュニティ協議会 会長

（2）市長あいさつ

（3）地域代表意見

No.	テ ー マ	所 管 課
1	J R 宇都宮駅東口の整備について	駅東口整備室 みんなでまちづくり課 教育企画課
2	今泉小学校の校舎・体育館改築について	教育企画課，学校管理課
3	L R T 導入に伴う周辺道路の安全確保について	L R T 企画課，L R T 整備課 学校健康課

（4）自由討議

No.	要 望	所 管 課
1	老朽化した空き家の対策について	生活安心課
2	J R 宇都宮駅東口周辺道路の美化について	道路保全課
3	今泉小学校周辺の通学路整備について	技術監理課，道路保全課
4	今泉宮っ子ステーション放課後子ども教室の運営について	生涯学習課
5	J R 宇都宮駅東口の整備に伴うコンベンションホール等について	駅東口整備室

6	今泉小学校の花壇撤去について	学校管理課
7	鬼怒通りのアメリカシロヒトリ駆除について	都市基盤保全センター

(5) 来賓あいさつ

地区居住市議会議員 金沢 力氏

(6) 市長謝辞

■地域代表意見 1 (要旨)

テーマ	J R宇都宮駅東口の整備について
-----	------------------

今年の1月に宇都宮市は「宇都宮駅東口地区整備方針」を策定した。今泉地区の住民にとって、平成15年に〈グループ七七八〉の提案が途中で頓挫した。

今回の方針に基づく駅東口の開発と、国の認可を受けたLRT事業の整備が、どう展開されるのかは住民の関心事である。

そこで、今回の事業を展開するにあたり、市としては十分な予算措置を取ったのか伺いたい。

次に地元として、ぜひ、お願いしたい点について、いくつか述べたいと思う。

第一として、医療・福祉・介護施設の充実である。現在、宇都宮中央病院ならびにホスピア宇都宮はあるが、高齢化が進む中でより一層の充実を望みます。また、今泉地区は市内で最も若い人が住んでいる地域でもある。マンション・アパートには共働きの若年夫婦も多く、中には新幹線で都心に通勤する方もいる。保育所など育児、託児の施設を駅近辺に整備し、安心して子育てしながら働ける環境を作っていただきたい。

次に憩いの場を作っていただきたい。駅前がビルなどの建物ばかりでは、自然豊かな栃木の県都としての宇都宮にはふさわしくないのではないかと。緑あふれる公園や広場ができるのが理想であるが、例えば、コンベンションホールの建物の屋上に庭園を作り、地元やJR線の様子や日光連山などの美しい景色を眺めることができるような憩いの場を設けてはどうかと考える。地元の人たちと宇都宮を訪れた方々との交流の場にもなると思う。

過日、LRTについて富山市を視察したが、富山市では市が町の中心に人が集まるような施策を行った。宇都宮市では中心部に駐車場やシャッターが下りている店舗が多く自動車を使って郊外型大型店舗で買い物をする人が多くなっている。LRTが走っても、魅力あるものが無ければ町の中心部に足を向ける人が少ないのではないかと心配である。駅東口が、生活していく上で利便性が良く、また、人々が訪れてみたくなるような場所に生まれ変わることを期待している。

回答	所管課： 駅東口整備室
----	-------------

【市長】

宇都宮駅東口地区整備事業については、「人・もの・情報」などの交流と賑わいの創出や都市の魅力の向上などに資する多様な都市機能の導入、県都の顔として、風格のある象徴的な都市景観の形成を目指しており、このような中、「野村不動産株式会社」を代表企業とするグループ「うつのみやシンフォニー」においては、国際会議や3x3大会など、様々な催事に対応可能なコンベンション施設のほか、ライフスタイル雑貨やレストランなどが入る商業施設、グレードの高いシティタイプのホテルの整備など、本事業の目的等を十分に理解した提案を行ったことから、6月25日に本事業の優先交渉権者として選定したところである。

これらの施設整備にあたっての予算措置についてであるが、本市では、事業を着実に推進するため、市の施設となるコンベンション施設や交流広場、自転車駐車場の整備に必要な予算を確保しており、また、優先交渉権者の提案においても、市の定める予算の範囲内の施設整備費としているところである。

商業施設・医療関係等の施設を賃貸として、コンベンションホールのみが市で管理することになる。

医療・福祉等の充実について、優先交渉権者の提案においては、将来起こりやすい病気を発症前に診断する先制医療や脳神経外科疾患を専門的に治療する病院の導入、小規模保育施設など、市民の健康で豊かな生活が支えられる施設の導入が提案されている。

憩いの場の整備についてであるが、当地区においては、1，2，3階から成る複層の交流広場を整備する予定であり、この広場の各階層にはサルスベリ等を植栽するほか、その他の施設においては屋上緑化や壁面緑化を行うなど緑豊かな憩いの空間となるよう取り組んでいく。

今後は、今泉地区の皆様のご意見を聞かせていただきながら、北関東の代表的な都市空間となるよう、「野村不動産株式会社」を代表企業とするグループとともに取り組んでいく。

再質問	J R宇都宮駅東口の整備について
------------	-------------------------

今回のJ R宇都宮駅東口の整備等に伴い、宮みらいに新しいマンションが建設されるが、そこに住む児童は、今泉小学校か築瀬小学校になるのか気になっている。

学区の問題があるのは承知しているところだが、学区はまちづくり組織（自治会等）の境界線でもあることから、今後どのような学区の決定がされるのか行政で適切に進めてほしい。

また、宮みらいの大型マンションでは自治会への加入率が極めて低い。今後、行政にも地域にも繋がりがなくなってしまうことが懸念される。

そこで、マンションを建設するときに、管理組合等に対して、行政から自治会への加入について働きかけをしてほしい。

回答	所管課： 駅東口整備室、みんなでまちづくり課、教育企画課
-----------	-------------------------------------

【市長】

宮みらいの学区については、今泉小学校が児童数増になったことで、学区を変更して築瀬小学校になった。まちづくり組織と学区は同じであることが良いと思う。

また、宮みらいのマンションの自治会の加入については、市が開発事業となっていることもあるので、二荒山神社の西側にある「シティタワー宇都宮マンション」と同様に自治会加入を促すよう、管理組合等に働きかけをしていきたい。

■地域代表意見 2 (要旨)

テーマ	今泉小学校の校舎・体育館改築について
------------	---------------------------

今泉小学校は今年で90周年を迎えた。校歌に「高くそびえる学び舎に」と歌われている昭和3年に竣工した最初の校舎は、当時としては珍しい鉄筋2階建てのものであった。

現在の校舎は、創立50周年の昭和54年に建てられ、もともと1学年2学級対応の校舎とのことである。学級数が少なかった頃は、昔の生活道具を展示した教室や給食を食べるためのランチルームなどがあったとのことであるが、現在では学級数が増加し、プレハブ校舎2棟が建設されている状況です。市内の小学校でプレハブ校舎が2棟もある小学校が他にもあるのでしょうか。

さらに、利用者の増加により、今年3月に子どもの家が1棟増築され、それに伴い、校庭に車を駐車せざるを得ない状態になっている。校庭が狭くなった影響で運動会のトラックも十分に取れなくなり、スペースがなくなっている。

小学校の校庭は地域にとっても、「夏の夕べ・盆踊り」「地区体育祭」「防災訓練」の会場であり、年々狭くなっていくことが心配である。

今泉小学校は、JR宇都宮駅に一番近い小学校であり、宇都宮に転勤してくる保護者の中で、ネット上で評判の良い学校でもあることから、転入児童が多くなっている。また、現在、地域内では大型マンション3か所の建設が展開されているため、児童数が増える可能性が高い。加えて、今後35人学級が6年生まで導入されれば、さらに教室が不足するのではないかと不安になる。

また、体育館は泉が丘小学校と比べ、あまりにも貧相である。体育館は小学校の行事や体育の授業で使用するのはもちろんですが、スポーツ少年団や地域のバレーボールクラブなど多くの団体が利用している。地域では敬老会、シルバークラブの運動会で高齢者が集う場になっている。その際に「和式のトイレは膝が悪くて使用できない」とお年寄りから意見があり、参加したくてもできない方もいると聞いている。

以上のことから、県都宇都宮駅東口にある地域のシンボルとなる小学校として、時代に合った校舎・体育館への改築を望むものである。

回答	所管課：教育企画課，学校管理課
-----------	------------------------

【市長】

日頃より、今泉小学校の子どもたちのために、宮っ子ステーションをはじめ、様々な活動において、熱心に取り組んでいただき感謝している。

トイレの洋式化については、児童の快適な生活環境を確保するため、今泉小学校においても、まずは、校舎トイレの洋式化を優先して計画的に進めていく予定であり、体育館のトイレ洋式化については、地域開放や避難所として、利便性の確保に向け、施設の長寿命化計画を策定する中で優先順位をつけて対応していく。

校舎増設については、児童数推計に基づき、普通教室不足が見込まれる学校において、必要な教室数を追加・確保してきたところであり、これまで今泉小学校のみが2

度校舎を増設している。

今泉小学校の児童数については、今泉地区における人口動態の特徴として、住民の転出入が非常に流動的であり、また、住民登録のある小学校入学前の子どもの数は多いものの、地区外への転居などの理由により、実際に今泉小学校へ入学する子どもの数は少ない傾向にある。平成30年5月1日現在の児童数推計値においても、住民登録のある小学校入学前の子どもの数が近年横ばいになってきており、現時点では、現在の校舎で対応できる見込みと考えている。

学校施設の整備について、今泉小学校の建て替えの時は、校庭が運動会や地区イベント等に有効活用できるよう、高層化などの検討も必要になる。

校舎や体育館の整備については、校舎のコンクリート劣化調査の状況や体育館の老朽度などを踏まえ、施設の長寿命化計画を策定する中で、各学校の整備優先順位を検討し、計画的に老朽化対策に取り組んでいく。

今後については、マンション建設などの宅地の開発状況を注視しながら、児童・学級数の推移をよく見極め、急激な児童数の増加により、現在の学校施設では対応できない状況が見込まれた場合は、早急に検討し、今泉小学校の教育環境の充実に努めてまいりたい。

■地域代表意見3（要旨）

テーマ	LRT導入に伴う周辺道路の安全確保について
------------	------------------------------

私たちの「宿郷東自治会」には、マンションや集合住宅が数多く連立した中に、約1,500世帯の方々が居住し、そのうち約1,300世帯がマンションや集合住宅で生活している宇都宮市内でも稀にみる住宅環境ともなっている。お陰様で、地域住民のご理解とご協力によって楽しく円滑な自治会活動を行っており、今後、自治会中央部に位置する鬼怒通りにLRTが走行するなど、利便性や活力に満ちた都市に向けて大きく変貌する地域となっている。

さて、LRT導入に関しては様々な意見があり、中央部に鬼怒通りが位置する私たちの自治会では、LRTの工事開始後も従来どおりの生活環境の保全と今泉小学校児童通学路の安全確保が大きな問題と考えている。

工事中はLRTの軌道占用部分からの交通渋滞が懸念され、さらに渋滞を回避する車両やLRT通行に慣れない車両が脇道に進入し、抜け道となると、登下校する児童の安全が脅かされ、住民の日常生活にも大きな影響がもたらされると予測される。

LRT工事着手前に脇道や抜け道とされる道路の歩道確保や交通規制などの安全確保対策を先行していただき、具体的には歩行者専用道路を緑色のラインにしてほしいと思う。

今後も、快適で安心して暮らせるまちづくりに向けて、尽力いただきたいと思います。

回 答	所管課： L R T企画課， L R T整備課， 学校健康課
------------	---------------------------------------

【市長】

渋滞対策については、可能な限り現行の車線数を確保するための工事手順や、交通量のピークを避けた工事時間帯の設定など、工事期間中における交通の円滑化策を検討しており、市民生活への影響が最小限となるよう取り組んでいく。

今ある道路上にレーン敷く工事は、中央分離帯と歩道の空間を有効に利用し、できる限り、現在の自動車の流れに配慮しながら整備をしていく。

これらの工事内容やスケジュール、安全対策などについては、沿線住民や自治会に、適宜、工事情報のチラシなどを配布するとともに、「交通未来都市うつのみやオープンスクエア」や市ホームページ、ラジオ、新聞広告などにおいて情報を発信することに加え、工事箇所周辺の道路上に工事案内看板などを設置するとともに、清原工業団地などの沿線に立地する企業に対して、適宜、情報を提供していくなど、様々な手法や媒体を活用し、広く周知を図っていく。

■自由討議（要旨）

発 言 1	老朽化した空き家の対策について
--------------	------------------------

地域内に倒壊する恐れのある空き家がある。先日、大阪で大きな地震もあり、通学路となっていることから更に心配である。

市で取組んでいる空き家対策について教えてほしい。

回 答	所管課： 生活安心課
------------	-------------------

【市長】

空き家は、管理者である所有者の責任において、自主的な改善を図るべきものであると認識しており、管理がされずに放置されると、建物の一部の崩落や樹木の繁茂などにより、市民生活へ悪影響を及ぼす要因となることから、本市においては、平成27年5月に施行された「空家等対策の推進に関する特別措置法」等により、空き家の発生抑制や適正管理などの取組を推進しているところである。

そのような中、地区内のご要望の空き家については、直接訪問し、指導を行うとともに、「老朽危険空き家除却費補助金」の活用に向けた案内を行うなど、所有者自身による改善に向けて取り組んでいるところである。

発 言 2	J R宇都宮駅東口周辺道路の美化について
--------------	-----------------------------

J R宇都宮駅東口周辺道路は、歩道と車道の段差に土砂の堆積や雑草がある。J R宇都宮駅東口側は美化推進地区になっていることから、道路清掃車を活用するなどして、駅東口側の美観を維持して頂きたい。

回 答	所管課：道路保全課
------------	------------------

【市長】

宇都宮駅東口のロータリーについては、毎月、道路清掃車等を活用し、路面清掃を実施するとともに、街路樹や道路上の雑草についても、年間3回剪定や除草を実施している。

また、駅東口ロータリー北側の道路においては、車道と舗装の段差に土砂の堆積や雑草を確認したことから、速やかに路面清掃等を実施する。

そのほかの周辺道路についても、適宜必要に応じて路面清掃や除草等を実施していくので、お気付きの箇所があれば、ご連絡いただきたい。

発 言 3	今泉小学校周辺の通学路整備について
--------------	--------------------------

今泉小学校西側の東雲通りについては、前回のまちづくり懇談会において、わだちによる水はね対策を要望し、歩道と車道との境界部分のコンクリートに切れ目を入れ修繕された。

また、今泉小学校の東門の設置についても早々の対応があり、登下校時の利便性が確保された。

しかし、近年、東雲通りにおいて、わだちが深くなり水が多くとまるようになったため、雨天時に水はねが酷くなった。

このようなことから、今泉小学校の部分だけでも再度修繕をしてほしい。

また、今泉小学校東門の道路に横断歩道がないため通学してくる児童がツタヤ交差点まで南進しなければならない。

そこで、東門の道路に横断歩道を設置していただけると、安全性、利便性がより高まると思われる。該当する道路は、県道とのことで市の判断ではできないと思うが、市から県へ要望をしてほしい。

回 答	所管課：技術監理課、道路保全課
------------	------------------------

【市長】

東雲通りの道路排水については、歩道に整備された側溝に流れ込む構造となっている。ご要望の箇所を確認したところ、道路縁石の切れ目に、土砂が堆積し、道路排水を妨げていることから、早速道路清掃をして水がスムーズに流れるようにしていきたい。

わだちの舗裝修繕についても、市全域の道路状況をみて緊急性等を見極めながら対応をしていく。

排水性舗装については、走行安全性の向上や騒音低減などの効果が見込まれるが、当該道路への排水性舗装の導入については、側溝を車道側に変更するなど、大規模な工事が必要となることから、今後、導入効果を検証した上で判断していきたい。

また、今泉小学校東門の横断歩道については、市として県に意見を伝えていく。

発言 4	今泉宮っ子ステーション放課後子ども教室の運営について
-------------	-----------------------------------

今泉地区の放課後子ども教室は市内で4番目に設立され、地域の皆様のご支援をいただきながら、これまで10年間無事故で運営してきた。現在260名の利用登録があり、事務はコーディネーターが週4時間分の手当で準備等をしているが、登録人数が多いため、時間内に準備が出来ずに、周囲の人達に手伝ってもらっているのが現状である。

そのようなことから、宮っ子ステーションコーディネーターの待遇改善を要望する。次の世代で今後、引き受けてくれる方がいなくなるのではないかと心配である。

回答	所管課：生涯学習課
-----------	------------------

【市長】

放課後子ども教室事業は、事業の開催日数と登録児童数により必要となる人件費と事務費について委託料を積算し、地域主体の運営委員会に委託して実施しているところであるが、人件費の積算に当たっては、国が示す謝金単価をもとに決定している。

事業実施に当たり、登録児童への周知や学校との調整、人材の確保、生涯学習課への書類提出など、コーディネーターの事務負担は、大きいものであると認識しており、負担軽減を図る取り組みが必要であると考えていることから、皆さんの声を聞きながら、市への提出書類の削減など、事務処理負担の軽減等につながる改善策について検討していく。

発言 5	JR宇都宮駅東口の整備に伴うコンベンションホール等について
-------------	--------------------------------------

コンベンションホールと大規模施設は各自治体が苦勞している話しを聞く。商業施設の建設においても市ではハードルが高く、コンベンションホールの会議室についても見通しが厳しいように思える。

そのようなことから、建設事業を行わないで広場や駐輪場を設置費用にしてはどうか。

また、高級ホテル、商業施設あるいはコンベンションホールについて、テナント収入を主とすると、もし収入減となった場合は、税金で負担することになるのか聞きたい。

回答	所管課：駅東口整備室
-----------	-------------------

【市長】

大規模な全国レベルのコンベンションの開催が可能な会場及び宿泊施設が、市内の中心に設置されていないとコンベンションの誘致ができない。コンベンションの開催

を通じて、多くの方に、宇都宮の魅力を感じてもらうことにより、企業の進出にも繋がる。

商業施設については、地域の商店と棲み分けをして、相互が相乗効果をもたらすような商業施設を建設することが示されている。

駐車場及び駐輪場についても、交通渋滞を発生させない出入庫口の設置、駅利用者に十分配慮した利便性の高いものとするなど、周辺環境等にも配慮した駐車場とし、駐車台数の確保もできる計画案が優先交渉権者より示されている。

中央街区については、コンベンション施設及び交流広場以外は、民間の施設になるので、税金で補てんすることはない。コンベンション施設については、市が指定管理者制度により民間に施設の管理運営をお願いする予定なので、予算範囲内で事業をやることになる。

これからは、行政主導だけでなく、民間事業者と協力をして、宇都宮が持続できる都市となるよう取り組んでいく。

発言 6 今泉小学校の花壇撤去について

今泉小学校南校舎前に花壇がある。その花壇前の校庭を駐車場として使用しているため校庭が狭くなっている。

そこで、校庭駐車場の確保のため南側の花壇を撤去することを希望する。

回答 所管課：学校管理課

【市長】

学校側の意見が尊重されることだと思う。今泉小学校と教育委員会には確認をして連絡をする。

発言 7 鬼怒通りのアメリカシロヒトリ駆除について

鬼怒通りで子どもの見守りをしているが、水戸街道までの間にある街路樹にアメリカシロヒトリがいる。

子ども達が歩道を通れないので、下校する際は、迂回している。迂回する道は狭く、車が通るので危険である。

市で対策をしてほしい。

回答 所管課：都市基盤保全センター

【都市基盤保全センター所長】

自治会長より既に依頼を受けているので、天気が良好なときに該当箇所に薬剤を散布する。